

群馬県立長野原高等学校

学校評価一覧表 (令和5年度版)

(別紙様式)

羅 針 盤			方 策		点検・評価	達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目	自己評価	外部アンケート	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が、80%以上である。	・あっとほーむ長野原の具現化。生徒のニーズを吸い上げ、満足度の高い学校生活が送れる環境を整える。	A	A	A	・生徒の8割以上が学校が好きだと答えている。アットホームな環境での学校生活に満足している様子が伺える。しかし10%の生徒が学校の環境や生徒同士の関係、職員との関係に不満を持っている現状もある。次年度以降も生徒の声を吸い上げて、改善を図りたい。	・生徒数が少ない中で生徒の満足感を高める教育を引き続き、継続して欲しい。 ・地域の特色を生かした事業や地域貢献活動がたくさん行われている。義務教育校とも交流を図り、地域全体で子供たちが主体的に活動できる環境づくりに取り組んで欲しい。 ・地域の活動で長高生が活躍している姿をたくさん見ることができている。
		②学校行事や生徒会行事（スポーツフェス、ハッスルウォーク等）に満足している生徒が80%以上である。	・地域の特色を生かした満足感、充実感の得られる行事を学校の雰囲気や生徒数に応じて計画的に実施していく。	A	A	A	・行事の内容及び雰囲気多くの生徒が満足感をもっている。本年度のスポーツフェスでは生徒数の減少に伴い、1~3年生を縦割りでチーム編成し、学年を超えた交流ができていた。今後も生徒数減少にもとまらず工夫をしていきたい。	
		③ぐんまコミュニティー・ハイスクール事業（花いっぱい運動、地域探究活動、読み聞かせ会等）に積極的に参加していると感じている生徒が70%以上である。	・総合的な探究の時間やぐんまコミュニティーハイスクール事業に関わる、地域貢献活動に多くの生徒が積極的に参加できるよう支援する。	A	A	A	・花いっぱい運動やこども園での読み聞かせ・大型紙芝居の実施は地域から大きな評価を得ており、求められている事業となっている。多くの生徒が関わっており、本校の生徒の成長に大きく影響を及ぼしている活動である。さらにジオパーク関東大会等で生徒の発表機会をいただき活躍することができた。今後も、新しい発想をもって発展的に取り組んでいきたい。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④授業はていねいでわかりやすいと実感できる生徒が80%以上である。	・定期的な研修の実施と教員相互での授業評価や生徒の授業アンケートを授業改善に生かす。	A	A	A	・本年度は主にICT活用を研修の主題として実施したこともあり、授業内での活用方法を得ることができ、教員も生徒も授業内容に満足している結果が伺えた。ICTを有効に活用できる技術をさらに高めていきたい。	・きめ細かな丁寧な指導に、生徒もそれを受け止めている様子が見られた。しかし丁寧な教えようとするあまり、手を出し過ぎてしまいかねない。自発的で活発な授業づくりを目指して欲しい。 ・学習意欲の低い生徒がいる一方で、進学意欲を持った個別指導での生徒の満足度は高く、生徒のニーズに合わせた学習指導を実施することができている。
		⑤少人数指導や習熟度別学習、学び直しに、生徒の80%以上が満足している。	・学習形態を工夫し、双方向的な授業を心がける。	A	A	A	・学び直し、習熟度別学習、少人数指導等、生徒の実態に合った授業内容に多くの生徒が満足している。生徒は、教員が丁寧に教えてくれる姿勢も評価している。	
		⑥学力が充実していると、生徒の80%以上が実感している。	・生徒の能力に応じた、きめ細かな個別指導（課題や補習）の充実を図る。	B	A	B	・学習の成果を実感していない生徒が多かった。学習に意欲を持っていない生徒や、繰り返し復習しても学習内容の定着が難しい生徒もおり、個別指導の在り方については課題である。	
3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦スタディサプリの活用で、学習成果の向上を感じている生徒が80%以上である。	・到達度テストを活用し、生徒一人ひとりに応じた課題を設定し、振り返り期間での課題解決を図る。	C	C	C	・振り返り週間におけるスタディサプリの効果的な活用については、個別最適化な学びを実施することが昨年からの課題である。今年度はプリントによる学習も取り入れながら実施した。より高い学習効果が得られるよう、改善してきたい。		
	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧職員会議・学年会議・生徒指導部会議・教育相談部会議において、生徒に関する情報交換を月に2回以上行う。	・各会議の情報交換から情報共有を図り、組織的な指導・援助につなげる。	B	B	B	・各会議で月に2回以上は情報交換を実施し、情報の共有を図り生徒の指導・援助につなげた。	
		5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に進めていると認識している生徒が80%以上である。	・職員研修の定期的な実施、生徒への声かけ・面談・アンケート実施などいじめ未然防止に向けた取組を積極的に進めていく。	B	B	B	・生徒や保護者が職員に相談しやすい環境ができていて満足している声も聞かれる。引き続き、生徒の観察、声掛けを充実させいじめの未然防止、早期発見・対応に努めたい。	
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨悩みや相談事に先生方はすぐに対応してくれていると答えている生徒が90%以上である。	・生徒の小さな変化を見逃さず、相談は時間を惜しまず真剣に対応する。	B	C	C	・外部アンケートで肯定的な結果が90%弱であった。スクールカウンセラーや教育相談アドバイザーの活用など、教育相談部を中心にきめ細かく丁寧な対応をおこなっている。日々の生活の中で生徒が相談しやすい環境をつくるために工夫していきたい。		
	⑩校則に準じた「身なり」をし、大きな声で「あいさつ」でき、「ルール・マナー」を守れる生徒が80%以上である。	・生徒が主体的に学校生活を送れる環境づくり（校則の再直し等）の支援を行い、主体的にルール・マナーを守れる生活指導を行う。	B	B	B	・多くの生徒が校則やルールマナーを意識して生活している。生徒の主体的な活動から、より良い学校生活の環境づくりが実現できるよう改善を図りたい。		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑫3年間を見通した進路指導を行い、その指導を理解している保護者・生徒が80%以上である。	・3年間の進路計画を明確にし、各学年での段階的な指導と、家庭との連絡を密にして生徒個々に応じた指導を行う。	A	A	A	・インターンシップ、上級学校・企業訪問・進路ガイダンス等の進路プログラムを適切に実施し、進路目標を明確にさせ、3年次の進路選択にうまくつなげることができている。保護者に理解・協力が得られる内容にできるよう改善を図り、実践してきたい。	・学校教育で生かせる人材を活用して進路指導につなげていることは評価できる。卒業生を中心とした人材開発をして、今後の活動に積極的に取り入れて欲しい。
		8 生徒は自らの進路について、真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑬自己の進路実現に向け、学習や部活動、面接指導、資格取得、インターンシップ等に積極的に取り組んでいる生徒が、80%以上である。	・学年に応じて効果的な行事を実施する。また事前・事後学習を充実させ進路意識の向上を図る。	A	A	A	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑭本校ホームページで本校の取り組みや生徒の活動の様子を知ることができ、満足している保護者が70%以上である。	・ホームページの内容を充実させる。特色的な行事や、活動の様子がわかる内容をブログ形式で数多く発信する。また保護者のみ閲覧可能なサイトを作成、写真や動画を掲載し、学校での様子がみられるようにする。	A	A	A	・ホームページを刷新し、学校情報や生徒の活動を積極的に発信することができた。保護者の満足感を高められるよう、様々な学校の様子をさらに発信していきたい。	・今後は、日本語のみではなく英語表記など必要になる場面が出てくると思うので対応を考えておく。
		⑮定期的に学校通信や学年通信・学級通信等を発行し、地域・生徒・保護者に学校の情報を提供している。	・学校新聞は地域への回覧をおこなう。学校の活動や様子がわかる内容を多く発信する。	B	B	B	・当初予定していた地域への回覧を変更し、LINEを活用して学校通信等の発行情報を提供する方法にした。次年度は年度当初から保護者へしっかりと周知し、学校への興味・関心を高められるようにしていきたい。	
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯学習用端末やICTを積極的に活用した授業に生徒の80%以上が満足している。	・学習用端末やICTを効果的に活用し、わかる・できる喜びが感じられる授業を行う。	A	A	A	・ICT活用の授業は生徒の満足度が高い。Jamboardのグループワークの活用や、e-boardの導入で授業の質を高めることができた。活用できていない職員もいるので教科内で共通理解を図り活用していきたい。	・授業でのICTの導入がしっかりと定着し生徒の取り組みも良かった。遠隔授業では画面間のやり取りに冷たさを感じた。対面を含めて活用したほうが良いと思った。 ・GoogleFormでの回答で手間取ったこともあった。ICTに対応できない人への配慮を考えながら、活用していたこととありたい。
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑰通知やアンケートのデジタル化に、生徒・保護者の70%以上が満足している。	・Googleクラスルーム、GoogleFormや保護者へのメール連絡を積極的に活用する。	A	A	A	